

第2回近畿圏広域地方計画有識者会議 議事要旨

日時：平成27年7月6日（月）10：00～12：00

場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館2階大会議室

1. 開会 10時00分

2. 議事

- (1) 近畿圏広域地方計画骨子及び協議会の開催結果報告について
- (2) 主要プロジェクトのイメージ（案）について

3. その他

2. 議事

- (1) 近畿圏広域地方計画骨子及び協議会の開催結果報告について

■資料1・3説明（事務局）

【大西委員長】

先ほど説明頂いた資料に対して、順番にご意見等を伺いたい。

【朝廣委員】

- ・出生率の向上と女性の社会進出は矛盾する話であり、このあたりの記述が少し弱いと思われる。少子化が言われながら具体的な対策が無いのが現状であり、不妊の主な要因は高齢化であるが、こうした根本的なことを変えていくということに関西から発信できないか。
- ・コンパクト化と過疎地集落の再生も矛盾した話であり、どちらも進めていく必要がある中で、単にコンパクト化を進めるというだけでは、そこに住んでいる人たちの故郷を大切にしたいという思いをどう汲んでいくかが難しい。
- ・農業の6次産業化の話が出されているが、関西は日本有数の農産物があり、日本海側には豊富な海産物もあるので、そういったものを関西という括りで世界に輸出していくという視点も重要だと思われる。

【柏木委員】

- ・第2節のところで、観光事業を担う人材の育成という点について、もう少し触れて頂きたい。
- ・持続可能性という言葉が出てきているが、今後はこれを実現するための具体の指標を

考える必要があると思われる。

【加藤委員】

- ・産業の分野で一番重要な点は、起業をどのように推進していくかである。日本は起業環境がよくなり、世界銀行の最近の調査でも世界で 80～90 位ぐらいである。したがって、アジアのゲートウェイという冠を付けるのであれば、アジアの人たちも含めて、関西で起業しやすい仕掛けづくりが必要である。
- ・それと、拡大が予想されている対内直接投資をどのように取り入れるかを意識する必要がある。

【鎌田委員】

- ・社会資本の老朽化について、例えば都市部の下水道管渠が老朽化することによる道路の陥没や、建築物の外壁の落下などの第 3 者被害についても、記述を強化して頂きたい。
- ・老朽化した構造物のメンテナンスは、防災減災に直結するだけでなく、観光等の振興にも影響する話である。

【黒田委員】

- ・関西国際空港は、次の段階として神戸空港も含めた 3 空港の一体運営を目指していくべきであり、関経連が以前から指摘されているように、将来の姿として道路も含めた交通の運営統合化を目指すということについて、記述できないか。
- ・第 4 節において、安全についてはほぼ記載されているが、安心・セキュリティの部分が弱いと思われる。したがって、安全な近畿圏というのを売りにできるような政策を打ち出せないか。
- ・関西にとっては、エネルギーが特にネックであるため、エネルギー政策の面で危機感を持っている。したがって、関西は再生エネルギーを増やしていくとか、スマート化を推し進めるとか、関西独自の方向を目指すなど、広域計画の中で意思表示できないか。これは産業政策にも絡んでくる話であり、単なる規制緩和だけでなく、新しい産業を振興させるためのインフラのあり方についても、先が見通せる形で書き加えて頂けないか。
- ・リニア新幹線や北陸新幹線については、ルートの合意形成等の問題はあるが、広域計画に書ききれなければ置いていかれるというぐらいの覚悟を持って、関西一丸となって取り組むためにも、関係機関で調整いただきたい。

【小林委員】

- ・インバウンドの多さが尋常ではなく、来訪者用のインフラが不足しているという実感がある。例えば、ホテルでは通常のサービスを提供できる施設が少なく、色々な形で対応しているというのが現状である。
- ・地方創生の動きも全国的に加速しており、農村や中山間地域のインフラ整備の必要性も高まっている。

- ・イノベーションの遅れに対して、関西がどう貢献できるか、或いは関西自身のイノベーションをどう推進していくかが課題である。先端産業の技術力で我が国の産業を牽引するとあるが、先端産業だけでなく、サービス業等も含めた幅広い分野のイノベーションを支えることに力点を置くべきではないか。

【坂上委員】

- ・観光文化については、関西の最大の強みであり、これを最大限に活かすということが計画に盛り込まれているが、これに関連するプロジェクトの予算は非力なので、もう少し配慮が必要ではないかと感じている。
- ・この計画を実現すれば、関西全体の衰退のスパイラルから脱却できるのかどうかを考えた場合、十分な説明が出来ないのではないか。
- ・例えば、オリンピック後にミッシングリンクが解消されているのかといったように、時間概念が乏しいと思われる。したがって、どういった時間軸でこの計画を進めていくのかの方向性を示すとともに、個々のプロジェクトではなく、10年後のインフラ系も含めた横断的な目標設定があればわかりやすいのではないか。

【佐藤委員】

- ・大阪は3大都市圏の中で最も高齢化が早く進むと予測されていることから、高齢者の移動の問題やそれを支える交通インフラの整備等が課題である。一方で、2021年には中高年の祭典である関西ワールドマスタースゲームズの開催が決まっており、関西にはロボットやバイオ等の強い産業があるので、例えば関西は高齢者にやさしく、住みやすい街であるというモデルタウンのようなものを打ち出してはどうか。それが新たなイノベーションの創出にも繋がるのではないか。

【角委員】

- ・空港問題については、関西経済界としても重要課題であると認識している。関西は24時間空港が2つあるというのが大きな強みであり、これからは3空港が関西の成長に不可欠であると考えている。ところが、空港があってもアクセス道路がなければ優位性を活かしきれないということで、6月30日に官民挙げて関西のミッシングリンクをなんとかしようという決起集会を行い、これには国会議員46名の賛同も得ている。さらにこの決起集会の後、政府与党に要望を行い、国土交通大臣より「関西の活性化のためには道路ネットワークの充実が必要であり、特に淀川左岸線と大阪湾岸西伸部は、経済的なストック効果が大きいことから非常に重要である」という意見を頂いた。また、大臣の発言を受けて、財務副大臣は「公共投資は投資効果が大きいものから優先的に行うべきものであるが、地元自治体の負担も努力頂くと推進しやすい」という前向きな言葉を述べられている。このように、関西広域連合と経済界が一緒になって、官民が連携して意思統一をすれば国も賛同しやすいと思われる。
- ・エネルギー問題については、再生エネルギーを増やすということだが、震災前は約1%であったものを10~20%にするということなので、低コストで再生エネルギーを作る

というのは、現実的には難しい問題であるということをご理解頂きたい。

- ・震災では原発の安全神話が崩壊したが、震災以前には原発の全電源喪失を想定した非常時訓練が1回も出来ていなかったことが大きな問題である。したがって、首都圏のバックアップの問題においても、首都圏で有事が発生した際には、例えば関西で国家安全保障会議を開催できるようにするなど、バックアップ機能の準備と訓練をしておくべきである。

【多田委員】

- ・個々の政策をどう整合させるのかが危惧される。
- ・都市部のインバウンド需要を地方に伸ばすためには、持続可能な観光という視点が必要であり、地方ならではの観光のあり方を計画に反映して頂きたい。
- ・移住については、職を持っている人は移住も可能になるが、地方に雇用がないと難しい。したがって、移住と起業が融合できるような政策があれば、もっと移住は促進されられると思われる。
- ・子育て支援に関する書き込みが少ないと思われる。

【立川委員】

- ・近畿はここ数年で大きな台風による被害が多発しているが、今後も地球温暖化でもっと大きな台風の襲来が懸念される。したがって、淀川流域全体として、最大クラスの台風による水害に対してどのような対策を講じていくかについて、もう少し書き込んで頂きたい。

【二河委員】

- ・歴史や伝統文化は、圧倒的な関西の強みであり、インバウンドの面で言えば、こちらが気付かなかった所においても外国人で賑わっている。例えば、最近のミナミや京都では外国人来訪者が非常に多いので、こうした人たちにまた来てもらうためにも環境整備が必要であり、外国人にとっても魅力となる歴史や文化を守り育てる必要がある。
- ・地方創生について、コンパクトシティと小さな拠点为国がアピールしているが、持続可能なまちづくりや都市機能、生活サービスを維持するためにも必要だと思われる。ただし、この考え方はあまり理解されておらず、周辺地域や集落の衰退に繋がるのではないかと捉えられかねないので、こういったメリットがあるかなど、もう少し丁寧に記述をして頂きたい。
- ・東京一極集中の是正については、政府がどこまで本気なのかよくわからないが、関西はこれを活かさないとダメだろう。

【橋爪委員】

- ・広域地方計画は全国計画の一部を成すものであるが、全国計画は危機感を強く打ち出しており、我々が変わらなければならないという強い意識の下で新しい国土形成の概念を打ち出しているが、近畿の計画は危機感が弱くて従来型の計画になっているように思われる。したがって、国土全体が変わらなければならないというミッションのも

とでこの計画を位置づけるのであれば、この計画も全国計画の考え方に見合ったものにする必要がある。

- ・国土形成計画の中には重要なキーワードがいくつかあるが、近畿圏の計画で特に記述が弱いのは、ＩＣＴ技術の劇的な進化であり、情報化社会の進展が対流促進型国土の形成にどう寄与するのかといった部分の記述が弱いと思われる。
- ・もう１つは、スーパーメガリージョンに関する考え方。これは京阪神圏、名古屋圏、首都圏の各メガリージョンを繋いでスーパーメガリージョンを形成するということだが、京阪神がメガリージョンでなければならないというところがあまり見えていないように思われる。つまり、京阪神がどのようなメガリージョンを構築し、どういった形でスーパーメガリージョンの一翼を担うのかを示すべきである。
- ・観光については、インバウンドの増加は日本や大阪だけでなく、東アジア全体で国境を超える旅行者が著しく増加している。したがって、インバウンドが増えているという目先の話ではなく、世界中で増加していることからこれは競争であり、その中で特に観光客数だけでなく、いかにして観光消費額を増やしていくかを考える必要があるだろう。日本は島国であり、全て飛行機か船で入国しないといけないという環境にあることから、大陸の各国とは違う政策を考えなければいけない。我々は、従来は他国と比較しても国際化があまり進展されていなかったことから、これからは圏域全体として、外国人労働者の問題も含めて、国際化についてどう考えていくか、どんな姿を目指すのかの打ち出しが必要である。

【藤井委員】

- ・ＧＤＰの構成比より、何が近畿に最も貢献しているのかを見ると、内需が大半を占めているので、インバウンドも大事だが内需対策を忘れると関西は確実に撃沈する。
- ・政府は地方創生や国土強靱化等に力を入れているが、その中で常にキーワードとして挙げられているのは、東京一極集中緩和である。これを進めるにあたって、最大の役割を担うのは関西以外にあり得ないので、関西が頑張れば実現できるという迫力を出して頂きたい。
- ・最も大切なのは、リニアと北陸新幹線の「早期」である。これに関しては、フィージビリティは決して高くないが、関西の各界が全力を挙げればフィージビリティは上がって、決して実現不可能な問題ではない。地域の社会・経済・文化・歴史の構造を支える最も重要な要素はインフラの下部構造であり、さらにその中でも最も重要なのは物理的交通である。地域の様々な計画において、この物理的交通システムなくしては成り立たない。関西がなぜ低迷したのかと考えた際、その要因はインフラの格差であったことは明白であり、その中でも最大の格差は新幹線である。東京は放射状に新幹線が整備されており、東北、上越、北陸、東海道の一大都市圏が形成されているのに対し、大阪は単なる通過駅である。したがって、関西を何とかしようとするならば、リニアと北陸新幹線は全力投入しなければならない。

- ・アジアのゲートウェイという意味では、関西空港も当然重要であり、関空新幹線についても少しでもフィージビリティを上げるような調査等を進めていただきたい。
- ・こうしたことが出来なければ、関西の浮上はあり得ないと断言できる。

【宮川委員】

- ・社会の様々な活動はインフラによって成り立っているが、関西はそれが不足しており、さらに今あるものも老朽化している状況である。それが危機的状況であるにも関わらず、もっと本気になって明瞭な表現で、不足と老朽化対策について書き込んで頂きたい。特に老朽化対策については、ＩＣＴやモニタリングなど新たな分野・マーケットにも結び付くと思われるので、そういった点についても打ち出して頂きたい。
- ・昭和 37 年の全総において地域格差是正が言われて以降、ずっと地域格差是正がうたわれているが、一度たりとも成功していない。コンパクト＋ネットワークは格差を加速させる恐れがあるので、きめ細かいネットワークをしっかりと考えないといけないということを書き込んで頂きたい。

(事務局より、本日も欠席の委員の意見を紹介)

【河田委員】

- ・便利さや効率性だけでなく、住むことが楽しいまち、子どもが楽しみ喜ぶまち、ドライブして楽しい道路、お金を使わなくても生活が楽しくなるような環境づくりなど、希望を共有して計画を策定すべき。
- ・東京・大阪だけでなく、地域性を持った各都市が共存すべきなので複眼構造で問題無い。
- ・リニア中央新幹線・北陸新幹線についてはルート問題を早く解決すべき。
- ・山陰地方には観光地が多いが、アクセスが悪い。山陰新幹線が必要では。
- ・関西は大阪を中心に盛り上げていくべきだがその考えが抜けている。特に、道路ネットワークが不完全。

【帯野委員】

- ・アジアの認識を正しくすべき、日本はアジアで NO. 1 ではない。成長するアジアを如何に取り込むかが重要。

【浅野委員】

- ・関西の特徴について、他圏域との比較の中で、関西の特徴をもっと考えるべき。
- ・管理中枢機能、情報発信機能が東京に集中していることによる是正が必要。
- ・複眼型をいうのであれば、東京圏との比較が必要ではないか。

【正司委員】

- ・広域地方計画といいながら計画になっていないのでは。限られた予算の中では、各PJ毎に優先度をつける必要があるし、如何に評価をするか等も重要である。例えば、日本海側を元気にするには道路が先か港が先かがわからない。
- ・優先度をつける意味は目指すべき姿を実現させるために行うものだ。

【大西座長】

- ・ 全般的にインパクトが小さいような気がする。例えば、この骨子を公表した時にマスコミがどこを注目するだろうか。一般の人がこの計画を見た時に、2050 年頃の長期的な姿と 10 年後ぐらいの姿が少し見にくいと思われる。それと、コンパクトシティ等についての一般の人の理解度が不足しており、もう少しわかり易くするという面での検討が不十分のように思われる。
- ・ 空間的に全世界と繋がっているのは、ネットワーク（サイバー空間）であり、こうした面からみて関西はどうなのかを考えた場合、関西は技術も人材も豊富だと打ち出せるのではないか。
- ・ リニアや北陸新幹線については、やはり地元の熱意を外に発信する必要があるだろう。したがって、関西が一体となってメッセージを強く打ち出すべきである。

(2) 主要プロジェクトのイメージ(案)について

■資料 4・5 説明（事務局）

【藤井委員】

- ・ 特に 3 の広域交通ネットワークのところで、フィージビリティの高いものだけでなく、低いものでも「調査」ぐらいは書けるだろう。リニアや北陸新幹線については、全国計画の方でもかなりややこしいやり取りがあって今の書き振りになっているが、それと祖語が無い程度に記載して頂きたい。その際、ルート問題とは切り分けてもよいと思われるので、まずは早期に実現するという何を何とかこのページにしっかりと記載して頂きたい。

【加藤委員】

- ・ これまでは、国や地域のイノベーションをどうやって進めていくかがはっきりと見えていなかったが、最近では ICT 技術の加速との関連の中で、ビッグデータを使うことでこれまで見えていなかった新たな関連性が顕在化しながら、新しいビジネスが展開されている状況である。そういった点で、関西は重要なリソースをたくさん持ち合わせているので、ICT を活用しながらこれらをうまく繋ぎ合わせたり編集していくことで、関西全体のイノベーションの力を付けていくという構図を構築していくといった視点が必要だと思われる。

【立川委員】

- ・ 強靱化プロジェクトについて、例えば淀川流域の堤防は非常に高いレベルで整備されており、水害に強いまちづくりがなされている。そういった意味でも関西は水害対策

において先進的であり、防災・水害に強い関西というのをもっと打ち出してもよいのではないか。

【宮川委員】

- ・プロジェクトについては、あまりメリハリがないような感じがして、どれに命を懸けているのかがよくわからない。したがって、本気度が見えるような形にして頂きたい。
- ・若者や子どもに受け継いでいくという意味で、サステナビリティは非常に重要な視点であるが、その言葉自体があまり出てこないの、少し物足りない感じがする。
- ・ＯＫＹ（お前がここに来てやってみろ）という言葉があるが、関西はこうなんだといったように、関西の強みを持って本気度を示して根強く突き進むということが必要である。

【橋爪委員】

- ・全国計画のキーワードは、関西の計画にとっても重要なので、例えばＩＣＴや国際という言葉も重要だと思われるので、反映して頂きたい。
- ・主要プロジェクト（案）については、例えば「地方都市活力向上」、「農山漁村地域創生」「関西強靱化」等は方向性が非常にわかりやすい名称だが、「成長エンジン」はどうするのかのベクトルがよくわからない。
- ・ＭＩＣＥ誘致強化については、20～30年前は東アジアの中でもトップクラスのコンベンション都市を形成したが、当時に建設された既存施設を更新する必要もあるので、誘致だけでなく、諸機能の強化も必要である。

【二河委員】

- ・本日の資料を記事にしようとした場合、おそらく資料４の左側の戦略はさらっと書いて、右側のプロジェクトは一覧表で載せると思われる。そういった意味で、一般の人にも注目されるようにしようと思えば、主要プロジェクトに何を盛り込むかが大きなポイントになるだろう。わかりやすいプロジェクトで言えば、例えば「うめきた２期の推進」が挙げられているが、もっと思い切った書き振りは出来ないのか。
- ・骨子の中に、ＵＳＪと一体となって楽しむことが出来る総合的な観光施設とあるが、これはＩＲを想定しているのか。それと、大阪駅、京都駅、三ノ宮駅を都市再生の拠点として整備するとあるが、どう整備するのがよくわからない。したがって、メディアの立場からすると、もっと注目されるような書き振りにして頂きたい。

【多田委員】

- ・非常に幅広く、不足も無い反面華も無いという印象で、少しインパクトに欠けると思われる。生活者の視点から言うと、人の暮らしという部分が見えにくい。やはり中核となる大阪が頑張るべきであり、それによって周りにも波及効果があるので、まずは大阪が頑張るようなプロジェクトを打ち出してはどうか。

【角委員】

- ・「世界屈指の医療イノベーションと産学官の連携による次世代産業の創出」について、

PMDA（医薬品医療機器総合機構）はうめきたが窓口機能で神戸が出張所という扱いだが、これをうめきたに審査機関、神戸に窓口というように格上げをするべきである。東京に審査機関があるため、これを東西で別けると効率が悪くなるという意見もあるが、分野によって分ければ効率は落ちないという意見もある。したがって、PMDAについては関西で審査が出来る体制を構築して頂きたい。

- ・「淀川左岸線（２期）の整備推進」とあるが、先ほど述べたように、大阪湾岸線西伸部についても６月３０日に政府与党に要望を出したところなので、これも取り上げて頂きたい。
- ・MICE誘致については、関西全体が統合型リゾートで、そのゲートウェイとして関西空港があるという認識である。そういった観点からすると、国際会議については京都、大阪、神戸で競争しても仕方ないので、国の国際会議場である京都の機能を強化して、京都開催ではなく関西開催にすればよいだろう。したがって、国際会議は京都、大阪湾岸エリアはアミューズメントエリアとして位置づけ、関西全体で取り組むべきだと思われる。

【佐藤委員】

- ・人材育成について、少子化が進むことを考えた場合、アジアなどの新興国もターゲットに含めた高度人材の育成システムを構築することが必要だと思われる。
- ・関西としての目指す姿をアピールするには、医療やICT等の新しい成長産業と結び付けたようなプロジェクトの組み方を考えてはどうか。

【坂上委員】

- ・４、５、６のプロジェクトは、ほとんど聞いたことがあるような名称であり、これが2050年まで続くとは思えない。青色で示している主要プロジェクトのもう１つ右側に、具体の事業がないと少しわかりにくい。2025年までに優先的に横断連携して、その成果を情報発信するようなプロジェクトを示すと、方向性が少し見えてわかり易くなると思われる。
- ・前回の会議では、国際的な文化イベントを取り上げてはどうかという意見を言わせて頂いた。

【小林委員】

- ・資料４は、それぞれの戦略を達成するためにどういうプロジェクトが必要かという整理であるが、それぞれの戦略を推進するための目玉プロジェクトは何かがよくわからない。例えば、首都圏のバックアップについて、これに対応する目玉プロジェクトは何かがよくわからない。
- ・プロジェクトの主語がないので、国が直接やるのか民間がやることに支援するものなのかがよくわからない。例えば８の地域連携都市圏の形成は、誰がやるのか。こうした整理をまずやった上で最終形をまとめる必要があるのではないか。
- ・インバウンド、イノベーション、地方創生のプロジェクトが少し弱いという印象があ

る。

【黒田委員】

- ・このプロジェクトの中に、前回と同じプロジェクトが含まれているので、継続プロジェクトと新規プロジェクトの色分けが必要ではないか。それと、官と民の役割についてもわかるように記述して頂きたい。
- ・プロジェクトのレベルがまちまちである。例えば、関空の第3ターミナルビル整備などは、関空会社の事業であり、これは淀川左岸線の事業とはレベルが違うものである。したがって、例として挙げているプロジェクトはもう少し精査した方がよいのではないか。

【鎌田委員】

- ・メリハリを付けるというのは同意見である。11 のプロジェクトについて重要ランクを付けることによって、関西は何をメインにやっていくのかを意思表示する必要があるのではないか。
- ・プロジェクトのタイトルも重要であり、関西という言葉が含まれているものもあればそうでないものもある。

【柏木委員】

- ・2の知の拠点プロジェクトのところで、「次世代型人材育成推進事業」とあるが単に育成するだけではなく、優秀な人材を引き抜いていくという視点も重要である。それと、なぜ関東ではなく関西が「知の拠点」なのかについてを示すエリアプロモーションも重要だと思われる。
- ・4、5の観光については、観光事業を支える人材を確保するという視点も重要である。観光地の住民に観光客や観光事業に対する理解を示してもらった上で、観光資源は大切であるという意識とともにそれを保護する活動を促進させるためにも、観光を支える人づくりは不可欠である。
- ・持続可能性については、色々な分野に共通することであるが、それぞれの指標が何かを意識した上でプロジェクトの中身を精査していけばよいだろう。
- ・プロジェクトは単体で考えられているが、それぞれはリンクすると考えると、それぞれの戦略がどのような思考の下で打ち出され、それに見合う個別のプロジェクトがどのように連携・連鎖するのかを考えるとよいのではないか。

【朝廣委員】

- ・どうしてもこれだけはやるというような目玉プロジェクトがあればよいだろう。それと、関西首都機能移転プロジェクトといったようなものがあってもよいのではないか。
- ・今後30年・50年を考えた場合、人を作り育てることが大変重要になってくるので、プロジェクトとして、次世代を作るプロジェクトのようなものがあってもよいのではないか。神戸は再生医療、和歌山・滋賀ではバイオ、京都・奈良は歴史文化、大阪はものづくりといったように世界に誇れる研究が進んでいる中で、世界からあらゆ

る研究者を集められるのではないかとと思われるので、そういったことも打ち出してもよいのではないか。

(事務局より、本日も欠席の委員の意見を紹介)

【河田委員】

・ 関西ゲートウェイPJについて

アジア諸国との交流を盛んにするため、文化の香りがするまちづくり、人間が交わる地域、人間を通じた観光づくりなどのキャラクターを関西にもたせては。例えば、チャイナタウン等ユニークなまちづくりを！

・ 世界を魅了する関西PJについて

歴史・伝統だけでなく、現代文化も発信すべき。関西は大学が多いのも強みだし、宝塚や吉本も現代文化。

・ 関西強靱化PJについて

ネーミングを「関西強靱化・連携PJ」と連携を入れるべきだ。

【帯野委員】

・ 世界を魅了する関西PJについて

都道府県・市町村がバラバラで実施している情報発信について、機能整理・集約・強化を図るべき。強化とはユーザー側が必要とする情報を提供すること。

・ 暮らしやすい京阪神都市PJについて

「医療とまちづくり」の観点が抜けている。「地域医療構想」では医療は病院から地域や家庭にかわる。今後はNPOや医療カフェ等の役割が重要となる

・ 農山漁村地域創生PJについて

農山漁村で女性が活躍できる場を造る必要がある。また、教育の保証ということでは「小中学校の確保」が必要

・ 環境共生PJについて

自然環境の整備と、そこへの集客に向けた仕掛け作りが必要

【中嶋委員】

・ PJ全般について

プロジェクトが多すぎてわかりづらいし、関西らしいキーワードが少ない。また、「美しい関西」を全面に出せないか。美しい風景を守りながらインフラ等の整備を進める必要がある

・ 世界を魅了する関西PJについて

世界遺産の連携や情報発信等の事業も追加すべき

・ おもてなし関西PJについて

インバウンドが増えるのは良いが、増えすぎて支障が出ている。おもてなしのための環境整備が必要

【浅野委員】

・ 成長エンジンPJについて

成長エンジンPJ名の根拠がわからない

イノベーションには、プロセスイノベーション（効率化）とプロダクトイノベーション（今までにないものをつくる）があるが、今後はプロダクトイノベーションを進めるべきだ。

・ 知の拠点PJについて

大学は知の財産。会社経営の人材を大学と連携して育成すべき。

・ 地方都市活力向上PJ 農山漁村地域創生PJについて

地方創生が入らないとPJのバランスがとれない

・ おもてなし関西PJ

関西は、成長エンジンとおもてなしが融合しなければならない。

【正司委員】

・ プロジェクト全体について

戦略からPJへの移行にバラバラ感が有る。

記載されているPJの内容の実現性は

【大西座長】

- ・ 以前から継続しているプロジェクトについて、なぜそれが今も続いているのかについて、少し掘り起こしてみれば何か見えてくるのではないと思われる。
- ・ メリハリがないという意見もあったが、例えば主要プロジェクトの名称に付いている「関西」を「中京」「名古屋圏」に置き換えた場合、ほとんど同じことが言えるのではないか。そうすると、内容はどこも同じことを考えていると言える訳であり、関西ではここは譲れないといった棲み分けが出来ないか。他の圏域とほとんど変わらないということであれば、もう少し関西の特徴を打ち出す必要があり、関西の役割を十分に活かしながら情報発信が出来るような形でまとめて頂きたい。

3. その他

■資料5説明（事務局）

【大西座長】

- ・ 全国計画の国土審議会答申の閣議決定は、いつ頃を予定しているのか。

【事務局】

- ・ お盆までにされると聞いている。

以 上